

# 会 議 録

平成25年6月17日調製

審議会等名	平成25年度 第1回三条市文化財保護審議会		
公開の別	全部公開		
開催日時	平成25年5月29日(水) 午後1時30分～午後3時20分		
開催場所	三条市中央公民館 音楽視聴覚室	傍聴者	1人
出席者	審議会委員 荒木会長、渡辺副会長、石澤委員、岩田委員、岡村委員、関委員、高橋委員、長谷川道子委員、長谷川義道委員、平山委員、松井委員、松岡委員、松永委員		
	事務局 金子生涯学習課長、金子課長補佐、田村係長、勝山主任		
欠席者	六原委員		
議題	(1) 会長、副会長選出 (2) 木造十一面観音菩薩立像の三条市指定文化財の指定について (3) 保内三王山古墳群出土品調査報告について (4) ふるさと三条再発見調査報告について (5) 平成24年度文化財関係事業報告について (6) 平成25年度文化財関係事業計画について (7) 『三条市文化遺産リスト』追加候補物件について (8) その他		
	1 市民部長 開会のあいさつ (以下、会長選出まで事務局による進行)		
	2 自己紹介		
	3 議題		
	(1) 会長、副会長選出		
事務局	会長について、委員の中から互選することとなっているので、推薦をお願いしたい。		
松井委員	会長に前会長の荒木委員をお願いしたい。		
事務局	会長に荒木委員をという声があったが、いかがか。 (一同拍手)		
事務局	荒木委員に会長をお願いしたい。		
荒木会長	会長就任あいさつ 副会長についても、委員の中から互選することとなっているので、推薦をお願いしたい。		
松井委員	副会長に前副会長の渡辺委員をお願いしたい。		
荒木会長	副会長に渡辺委員をという声があったが、いかがか。 (一同拍手)		
荒木会長	副会長に渡辺委員をお願いしたい。		
渡辺副会長	副会長就任あいさつ		

	(2) 木造十一面観音菩薩立像の三条市指定文化財の指定について
荒木会長	事務局より説明願いたい。
事務局	<p>4月24日付けで、安養院にある木造十一面観音菩薩立像の三条市指定文化財の指定について、三条市教育委員会から三条市文化財保護審議会に諮問があったので審議いただきたい。</p> <p>諮問のあった物件については、すでに昨年度の文化財保護審議会で詳細な調査報告を行っているので、概要について説明したい。</p> <p>本像の高さは33.3cm、頭体は檜の一材から彫成され、内削りは施されていない。彫くちの浅い小ぶりで穏やかな目や口元、極めて薄手でシンプルな衣文表現などに平安時代最末期の特徴をみることができる。変化面を小さく天冠台状に一列に配する十一面観音像の例は少ない。損耗・後補部分がやや多い点が惜しまれるが、三条地域においては、平安時代末期に遡る古像は極めて少なく、素朴な小像ながら貴重な作例である。</p>
荒木会長	何か質問、意見はあるか。
松岡委員	昨日拝観させていただいた。平安時代の仏像であり、補修などが見られる。三条市で今後も悉皆調査を続けることで、未発見の古い仏像がまだ見つかっていくことと思われる。安養院には室町時代の銘文がある薬師像もあるとのことでこちらも調査するとよいと思う。
荒木会長	松岡委員の今後の仏像調査に期待したい。
	諮問のあった木造十一面観音菩薩立像について、文化財保護審議会として指定することが適当であると答申してよいか。
	(一同拍手)
荒木会長	三条市指定文化財に指定することが適当であると答申する。
	(3) 保内三王山古墳群出土品調査報告について
荒木会長	事務局より説明願いたい。
事務局	調査を担当した松井委員から説明をお願いしたい。
松井委員	<p>平成25年3月26日に、保内三王山古墳群出土品1,165点を実見した。</p> <p>保内三王山古墳群は、三条市上保内に所在する古墳時代前期の4世紀に造られた前方後円墳の1号墳、前方後方墳の4号墳、造出付円墳の11号墳と、古墳時代後期の6世紀に造られた円墳9基、方墳5基と計17基からなる古墳群である。</p> <p>発掘調査された前期古墳の11号墳から、四獣鏡1点、鉄剣1点、短冊形鉄斧1点、太形管玉2点、細形管玉62点、ガラス製丸玉34点などが出土した。内容の豊富さとそれぞれの質の高さから、被葬者の権力の強さを示すものと考えられる。これらは大和王権から信任の証として与えられたものであり、被葬者の権威の象徴となったものである。祭祀に使用したと考えられる鏡が含まれることから、前期古墳に特徴的な被葬者の祭礼を司る性格が伺える。県内の古墳から出土した鏡は数例あるが、特に鏝上がりがよく仿製鏡で、畿内で作られたものと推定される。</p> <p>また、古墳群中最大の前期古墳の1号墳の主体部内は未発掘であり、県内では数少ない現地で保存されている規模の大きな前方後円墳である、墳頂部の第1主体部及び</p>

	<p>第2主体部上方の落ち込みを中心として土師器の壺や甕が出土している。</p> <p>後期古墳の円墳である5号墳からは、墳頂部から須恵器の甕や土師器の杯が大量に出土した。これらは意図的に破碎している状況がうかがわれ、後期古墳で行われた祭祀を考える上で重要である。また、同じく後期古墳の方墳である12号墳からは、須恵器の高杯、鉄鏃、鉄製耳環が出土し、被葬者の官人的な性格への変化を知ることができる。</p> <p>以上のように副葬品や出土品から当時信濃川右岸を治めていた豪族の性格の変化が追え、地域の歴史を考える上で極めて重要である。特に前期古墳の11号墳から出土した四獣鏡や鉄剣、鉄斧、装身具類は、大和王権との結びつきを示すものとして貴重である。</p>
荒木会長	この他に古墳が発見される可能性はあるか。
松井委員	保内三王山古墳群の周辺では、その可能性は低く、現在見つかっているだけだと思う。新潟県中央部には古墳が少なく、前期古墳と後期古墳が同じ古墳群として所在しているのは、県内に他になく非常に貴重な古墳群である。
荒木会長	四獣鏡の文様は、獣には見えなくて芋虫が這っているような感じであるが、何を表現しているのか。また、中国から伝えられた文様か。
松井委員	中国から伝えられた文様であり、色々な説はあるが海獣であると思われる。
荒木会長	須恵器高杯の口縁部が少し歪んでいるように見えるがどのようなものか。また、脚部に隙間があって非常にモダンな感じがする。このような例はたくさんあるか。
松井委員	焼成時にできた歪みと思われる。3本脚のものはたくさんある。
荒木会長	太形管玉とは何か。
事務局	ブレスレットである。
荒木会長	当時の人はどのようなものでこれらをつないだのか。
事務局	糸があり、一緒に出土するところもある。
荒木会長	何か質問、意見はあるか。
	(質疑、意見なし)
	(4) ふるさと三条再発見調査報告について
荒木会長	どのようにしましょうか。
事務局	調査者である荒木会長さんから報告をお願いしたい。
荒木会長	<p>凧合戦の調査を依頼されたが、民俗学についてはあまり得意ではなかったので助言させていただく程度ということで調査を引き受けた。新潟県民俗学会の五十嵐稔さんと生涯学習課の高野さんと三人で会議をし、調査全体の骨組みを決め、それから執筆分担をした。平成22年の凧合戦は五十嵐さんと高野さんが写真撮影し、あるいは関係者へのインタビューなどから情報を得て相当な資料が集まった。これをまとめたのが『ふるさと三条』に掲載した「三条六角凧と凧合戦」というものである。2人の原稿はお互いに目をとおして、意見を交わし、また整合性を図った。他にも入れたい資料もたくさんあったが、紙面数の関係で載せられなかった。全国的に見てどうなかというところまで触れられなかったが、一つの資料としてまとめることができたと思</p>

	<p>う。</p> <p>民俗的なことは、古い資料が見つからず、文書としても残りにくいので、発掘するのに非常に骨が折れる。推測の域を出ないというものもあったがどうやらまとめることができた。</p>
荒木会長	<p>質問、意見はないか。</p> <p>(質疑、意見なし)</p>
	<p>(5) 平成24年度文化財関係事業報告について</p> <p>(6) 平成25年度文化財関係事業計画について</p>
荒木会長	<p>事務局より説明願いたい。</p>
事務局	<p>平成24年度文化財関係事業報告であるが、文化財保護審議会を2回開催し、市指定文化財の指定や文化財調査報告などを議題とした。文化財指定・登録は市指定4件、国登録が1件である。文化財の調査・管理については、建造物、古文書、考古資料の調査などを実施した。文化財の助成として、明治安田クオリティオブライフ文化財団から大谷地和紙保存会に助成があった。文化財めぐり、文化財講演会を開催した。ふるさと三条再発見事業として、「越後三条小路百選～小路のガイドブック」を刊行した。日本民具学会の三条大会を共催し、「鉄と民具」をテーマに、基調講演・シンポジウムを開催した。</p> <p>埋蔵文化財の調査については、本発掘調査はなく、試掘、確認調査を9件行った。埋蔵文化財の活用では、吉野屋遺跡出土火焰型土器・王冠型土器を九州国立博物館に貸出し、『海の道、アジアの路』で展示された。さんじょう遺跡物語展示会では、『五十嵐川流域の火炎土器』、『五十嵐川流域を歩いた考古学者』を開催し、それに合わせ、遺跡講演会やギャラリートークを実施した。遺跡体験出前講座では、井栗小学校など学校やグループなどで17回開催し、327人の参加があった。</p> <p>平成25年度文化財関係事業計画であるが、文化財保護審議会は、2回を予定している。文化財の調査では、ふるさと三条再発見事業として、下田郷のいしぶみ調査、大谷地紙製作技術記録作成、吉ヶ平の民具調査を実施する。八十里越企画展として、歴史街道八十里越をテーマとした展示会を開催し、講演会『八十里越を越えた河井継之助 ～只見における最後の12日間～』を行う。</p> <p>埋蔵文化財の活用では、さんじょう遺跡物語展示会『遺跡発掘調査速報展 2013』を開催し、遺跡講演会『発掘調査でみつかった水田』を行いたい。</p>
荒木会長	<p>質問、意見はあるか。</p>
関委員	<p>平成25年度事業計画のふるさと三条再発見調査事業で下田郷のいしぶみ調査があったが、下田村時代の調査記録はなかったか。</p>
事務局	<p>旧下田村で主体的にやっている記録はない。研究会でやっているのはあった。</p>
関委員	<p>下田地域には、いしぶみが非常に多くある。統一的な方法で行った調査の記録はあるか。</p>
事務局	<p>そういう資料は残っていない。</p>

石澤委員	下田郷文化財調査研究会としてはいしぶみ調査はやっていない。三条の興味のある方が何人かいしぶみ調査のために下田地域に訪れている。新潟から来て調査に入っている人もいる。
荒木会長	かなり前になるが、『三条のいしぶみ』を郷土史研究会でまとめたことがあり、今でも時々誤植があると指摘を受けるが、当時としては何回もいしぶみを見に行つて字を確認した。是非いい調査を行つていただきたい。
平山委員	同じふるさと三条再発見事業の吉ヶ平の民具調査だが、北方文化博物館に吉ヶ平から移築した民家が1棟あるが、この調査には民家の調査も入るのか。
事務局	今回の調査に関しては民具を中心に考えていて建物の調査は行わないことで考えている。民具の調査をしていて建物の調査が必要になったら行いたい。
平山委員	北方文化博物館の民家に茅葺の道具があったと記憶している。こちらも調査しておく必要がある。
荒木会長	このような調査が活発になってふるさとの姿を明らかにする。ふるさとに残された文化的な遺産を明らかにし、さらにそれを活用していくことはとても大切なことだと思う。
平山委員	市指定文化財本成寺鐘樓の修理の状況を説明願います。
事務局	本成寺鐘樓の修理をするということで平山委員からご指導いただき、修理を進めていただいた。修理の考え方、手法については平山委員からお願いしたい。
平山委員	袴腰の修理は、所有者は部材をすべて替えたいと希望していたが、一部解体した時に見せてもらったら、当初には遡らないにしても昭和初期の部材を使っており、かなり丁寧な仕事をしていた。もとの姿や技術が伝わるように南東隅の部材と火頭窓1つを残してもらふこととした。
荒木会長	何か質問、意見はあるか。 (質疑、意見なし)
	(7) 『三条市文化遺産リスト』追加候補物件について
荒木会長	事務局より説明願いたい。
事務局	市内に所在する指定や登録になっている以外の文化遺産について、保護が必要な物件を文化財保護審議会委員から推薦していただき、現在148物件をリストに掲載している。リストに掲載されていない物件について、保護処置が必要なものがあれば、調査表に記入し提出していただきたい。
荒木会長	各委員から候補物件の推薦をお願いしたい。保存、管理が所有者では難しくなっている物件もあると思うがどうか。
事務局	所有者がしっかりと保存、管理でき、活用することができるということも、文化財の指定や登録に当っては必要となってくると思われる。
松岡委員	リストに掲載する際は所有者の承諾は必要か。
事務局	今後の保存、活用を図るための内部資料としているので、この段階では所有者の承諾はいただいていない。調査等で必要がでてくれば、所有者にお願いしている。
荒木会長	何か質問、意見はあるか。

	(質疑、意見なし)
	(8) その他
荒木会長	他に何かあるか。
	(質疑、意見なし)
荒木会長	これで閉会とする。

以上